

保健だより 7月

令和7年7月14日（月）
群馬県立高崎北高校
保健室

百日咳の感染が増え続けています

百日咳とは

百日咳菌によって激しい咳を特徴とする急性の気道感染症で**出席停止の病気**です



百日咳の流行について

令和7年に入り、6月末時点で群馬県内における報告数が過去最多の報告数となりました。2022年の3倍のペースで流行しており、コロナ禍でワクチン（4種混合）の接種率が落ちてしまったのが原因と考えられています。19歳以下の報告数が全体の80%以上を占め、中でも10～14歳が約50%で最も多くなっています。乳児が罹患すると重症になり、まれに死亡することがあります。

出席停止期間

「**特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が完了するまで**」となっております。ただし、出席停止期間は基準であって主治医の証明があれば、この限りではありません。そのため、主治医に登校について相談してください。



感染経路：飛沫感染・接触感染

予防方法：接触を避ける、不織布マスクの着用、手洗い・うがい

治療方法：抗菌薬の服用



お願い

- 風邪だと思っていても咳が数日続くようであれば医療機関を受診してください。受診後もなかなか咳が治まらない場合は、再受診をお願いします。
- 検査から結果連絡まで数日かかることもあることから、検査を受けた段階(百日咳の疑い)で学校へ連絡をお願いいたします。その時に、主治医から登校可能との説明があった場合は教えてください。
- 出席停止後、登校時には「治癒証明書」の提出が必要となります。ホームページから治癒証明書をダウンロードをして、医師に治癒証明書を記入していただください。
高北HP→保護者の皆様へ→資料とダウンロード→1 各種様式（治癒証明）
→③インフル・コロナ以外の感染症における治癒証明書.pdf
- 咳が出る場合は、「咳エチケット」としてマスクの着用をお願いいたします。

